

飼養衛生管理基準の確認をしましょう！

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振っている中、入国・出国に対する規制や海外からの渡航者への行動制限等が課せられていました。そのような規制も、今後、徐々に緩和されることが考えられ、以前のように海外からの渡航者が増えてくる可能性は否定できません。このことから今後も、新型コロナウイルスのように、これまで日本にはなかった家畜の病原体が海外から侵入するリスクが高まることが考えられます。

海外からの渡航者が少ない今だからこそ、飼養衛生管理基準の確認をすることが大切です！飼養衛生管理基準は、農場内への病原体の侵入リスクを減らすために、生産者の方が遵守しなければならない基準です。飼養している家畜の種類や農場の形態によって環境が異なるため、各農場の状況にあった対策が重要です。今一度、自分の農場で病原体侵入リスクになりそうなポイントを見直してみましょう！

手指・履物の
消毒や交換の徹底！

野生動物
侵入防止対策！

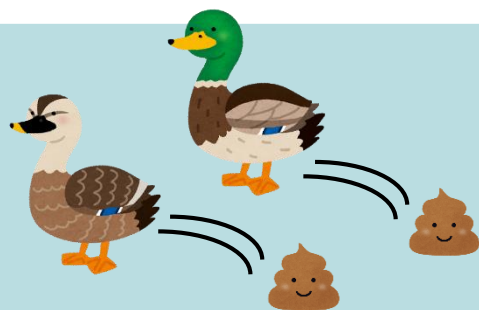
海外渡航歴
の確認！

車両消毒
の徹底！

他施設で使用
した物品の
消毒の徹底！

鶏：鶏舎等への野鳥
侵入防止対策！
(防鳥ネット*など)

※令和2年(2020年)11月1日から
豚・いのしの飼養衛生管理基準
にも追加されます！



CSF（豚熱）に係る豚病性鑑定研修会を開催しました

平成30年(2018年)9月、国内の豚飼養農場で、国内では26年ぶりとなるCSF(豚熱)の発生が確認されました。その後、中部・関東地方を中心に複数の県に発生が拡大するとともに、令和2年(2020年)1月には、沖縄県でも発生が確認されました。

このような状況を受け、令和2年(2020年)6月12日、4月に新規採用された家畜保健衛生所の獣医師職員等を対象とした、CSF(豚熱)を疑う病性鑑定研修会を開催し、迅速かつ的確な初動防疫がいつでも講じられるように努めています。

研修内容



CSF(豚熱)を疑う病性鑑定
についての講義



豚からの採血等の実習

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生日月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5N5	台湾	地鶏	令和2年(2020年)6月1日
口蹄疫	0型	中国	牛	令和2年(2020年)5月21日
ASF		韓国(8件)	野生イノシシ	令和2年(2020年)6月1日 ~令和2年(2020年)6月30日
		中国(13件)	豚	令和2年(2020年)1月1日 ~令和2年(2020年)6月30日
		ロシア	豚	令和2年(2020年)6月24日
		ウクライナ	豚	令和2年(2020年)6月3日

令和2年(2020年)7月1日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう!

